

かたらい

第102号

令和5年7月1日

発行 社会福祉 法人 とちぎ健康福祉協会

～ 健康経営 みんなの力で あふれる笑顔 ～

〒320-8503 栃木県宇都宮市駒生町3337-1

TEL (028) 622-2846

FAX (028) 621-1422

【U R L】 <https://www.kenkoufukushi.com>

【E-mail】 kenkoufukushi@arion.ocn.ne.jp

表紙の言葉

桜ふれあいの郷では、四月から新たに遊びりテーション「ほか・ほか」を始めました。「ほか・ほか」では、利用者さんの余暇時間の充実を目的に体操や創作活動・喫茶等の活動を行い、QOLの向上を目指しています。表紙の写真はその活動の一環として、利用者の皆さんと作成したダルマです。



行事あれこれ

ねりんピックとちぎ2023

生きがいづくり課

「ねりんピックとちぎ2023 スポーツ・文化交流大会」は四月二十日から約一カ月半、十六種目にて開催しました。

昨年度は「全国健康福祉祭神奈川県・横浜・川崎・相模原大会」が三年ぶりの開催となり大盛況に終わる事が出来ました。

昨年度の結果に刺激を受けた選手達は、全国大会を目指してねりんピックとちぎ2023の各競技に参加し、白熱の戦いを繰り広げました。



交流大会の様子



シルバー作品展の様子

またシルバー作品展では、日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の六部門に合計百四十九点の応募があり、五月三十一日(水)から五日間にわたり全ての作品が展示されました。作者の想いがたくさん詰まった素晴らしい作品ばかりで、作品展にはたくさんの方々で賑わいました。

シルバー作品展の上位入賞作品十二点とともに、スポーツ・文化交流大会で選抜された十六種目、各競技団体より推薦された五種目の合計二十一種目の選手の方は、栃木県代表選手として十月二十八日(土)から愛媛県で開催される第三十五回全国健康福祉祭えひめ大会に参加します。栃木県選手団の皆様がどんな活躍を期待しています。

とちぎ健康の森フェス2023

生きがい健康部

六月四日(日)、とちぎ健康の森では、栃木県誕生150周年記念協賛イベントとして、「とちぎ健康の森フェス2023」を開催しました。今年度は新型コロナウイルスへの対策等が緩和された中での開催となり、日常が戻りつつあることに喜びを感じます。

イベントの目玉として順天堂大学スポーツ健康科学部先任准教授の谷本道哉氏を招き「筋肉体操と超ラジオ体操とお散歩」と題した講演会を行いました。また、とちぎ健康づくりセンターの紹介やエアロバイクの器械体験コーナー、骨密度測定・健康相談、健



筋肉体操と超ラジオ体操とお散歩

康づくり体験レッスンを実施し、販売・休憩スペースでは、各団体の紹介・県内各施設の生産品販売を行いました。さらに、シルバー人材センターまつりを同時開催しました。

来館いただいた多くの方々、運営にご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

こどもの日

宝木保育園

五月五日はこどもの日ということで、宝木保育園でも遊戯室にこいのぼりや五月人形を飾ったり、各クラスでこいのぼりの製作を行ったりしながら、季節の行事を楽しみました。そして、五月七日には、五月の誕生日会と併せて、子どもの日のお祝い集会を行いました。

集会では、童謡「こいのぼり」を歌い、記念撮影をした後、「こいのぼりくぐりゲーム」を行いました。子どもが一人ずつこいのぼりの口から入り、尾びれから出てくるというこのゲームは、ここ数年、新型コロナウイルス感染症防止の観点から実施を見送っていたため、今回久しぶりの実施となりました。遊戯室に吊るされていたこいのぼ

五月二十日、わかくさの親子遠足、母と子のつどいを実施しました。新型コロナウイルスの影響もあり、昨年度は実施できなかった恒例行事。

母と子のつどい

わかくさ

大きなこいのぼりに触れるというのは、子どもたちにとって貴重な体験になりました。これからも子どもたちの成長のために、色々なことを経験させていけたらと思います。



こいのぼりくぐりの様子

りを、改めて間近で見た子どもたちからは、歓声が上がり、中にはその大きさや模様怯えてしまう子や、泣き出してしまいましたが、「楽しい」「もう一回やりた

い」と言いながら、初めてのこいのぼり

目的地は東京デイズニーシーです。現地に着くまでおよそ三時間。長時間のバスの乗車に多少の疲れはあったものの、エントランスを通過し入園すると、そんな疲れは吹き飛びました。

パーク内はグループ行動のため、絶対に乗りたくないアトラクションや食べたい昼食を決めるなど事前の準備に抜かりのないグループ。中学生がリーダーとなり、小さな子も楽しめるアトラクションを決めるグループ。それぞれの楽しみ方を見ることが出



K.O

K.R

来ました。パーク内の地図が頭にインプットされ、近道を誘導してくれるお母さん。苦手な絶対アトラクションと一緒に挑戦するお母さん。ポップコーンの列に並ぶお母さん。子ども達の喜ぶ顔を見たいと、いつも以上に張り切っている姿が印

親子遠足

宝木保育園

象的でした。そんなお母さんの姿は、子ども達の心に深く刻まれ、ちょっとした会話や景色も親子の心に残ることでしょう。 たった六時間の滞在時間でしたが、楽しむことが出来ました。ちょっと物足りなそうな子ども達の声も聞かれましたが、 次の行先はどこが良いのかなと、職員も候補地選びに張り切っています。

五月二十五日、年少児ほしぐみと年中児つきぐみの二クラスで那須高原りんどう湖ファミリー牧場へ親子遠足に行ってきました。親子遠足をとて楽しんでしていた子どもたち行く前にお部屋にパンフレットを貼っておくと「アイスおいしそう」「これ乗りたい」といった声があり、日常の会話の中で「おやつは○○にしよう」「お弁当楽しみ」といった言葉も聞こえてきました。

当日は、天気も良く遠足日和でした。集合写真の場所まで歩いていくうちに、アトラクションがたくさん見えてきて目がどんどん輝いていく子どもたちでした。自由散策の時間

になると楽しみにしていたソフトクリームを食べ、アトラクションに乗り、アルパカがたくさんいる所まで歩いて行きました。そつと見ている子、牛にミルクをあげたり、餌をあげたりと、親子やお友だちと共に楽しむ様子がありました。 また、保護者も、普段はなかなか交流する時間が持てませんが、子どもたちを通して保護者同士が会話をしたり、一緒にお弁当を食べたりとゆつくりと交流を図ることが出来ました。子供たちはお友だちを誘い一緒にアトラクションに乗って写真を撮ったり、おやつ交換をしたり、普段の保育園では経験出来ない関わりを楽しみことができました。 遠足での楽しかった思い出や経験を保育園生活でも共有し、活かしていきたいと思えます。



みんなで記念写真

令和5年度とちぎ健康福祉協会資金収支予算

自 令和5年4月1日
至 令和6年3月31日

(単位：千円)

Table with 5 columns: 勘定科目, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較増減. Rows include 事業収入, 活動収入, 支出, 施設整備等収入, 施設整備等支出, その他の収入, その他の支出, 予備費支出, 当期資金収支差額合計, 前期末支払資金残高, 当期末支払資金残高.

評議員

(敬称略・順不同)

Table with 3 columns: 氏名, 所, 属. Members include 関根 房三, 桶田 正信, 麦倉 仁巳, 島田 次秀, 佐護 操, 浜野 修, 星野 雄一.

理事

(敬称略・順不同)

Table with 3 columns: 氏名, 所, 属. Members include 鈴木 正人, 小堀 哲生, 松村 誠, 谷口 一広, 荒井 一宏, 小室 悦子.

監事

(敬称略・順不同)

Table with 3 columns: 氏名, 所, 属. Members include 大橋 哲也, 増山 雄貴.

令和5年度 とちぎ健康福祉協会事業計画

事業運営方針
令和5年度は、期間を延長したとちぎ健康福祉協会基本計画(三期計画)を締めくくるとともに、「質の高いサービスの提供」、「自主自立経営の確立」、「地域社会への貢献」の三つの基本方針のもと、各施設等における事業を推進していく。
事業の着実な推進には、職員が持つ能力を十分に発揮し、やりがいをもって働くことができる職場づくりが重要であり、キャリアパス形成を図る人材育成体制の充実に取り組みとともに、勤怠管理システムの導入を図り、適正な労働時間の把握に努めつつ、業務の効率化を図るなど、職場環境の整備に取り組み。
社会福祉事業にあつては、福祉施設におい

て欠員状態が続いているなど、福祉人材の確保が深刻な課題となっており、さらなる広報媒体の活用や採用方法の拡充により、人材の確保に努めていく。また、桜ふれあいの郷においては、令和3年度及び令和4年度に発生した不適切な支援を踏まえて策定した「桜ふれあいの郷再出発計画」に基づく取組みを進めるとともに、かねてから課題となっていた障がい者支援センターふれあいの建替整備について、着実に取り組んでいく。
公益事業にあつては、令和5年度が最終年度となるとちぎ健康づくりセンター、とちぎ生きがいつくりセンターの指定管理業務について、より一層のサービスの向上を図るとともに、次期指定管理の指定に向けて申請を行う。
令和6年度から令和10年度までの5か年における次期基本計画(四期計画)については、令和4年度に実施した基本計画(三期計画)の検証の結果を踏まえ、幅広く意見を取り入れながら策定する。

健康の森 ワンポイントアドバイス

熱中症予防を始めましょう！

健康づくり課

最近、ぐんぐんと気温が上がってきています。気象庁が発表している三カ月予報での栃木県の熱中症傾向は七月では「危険」、八月は「嚴重警戒」となっています。今年も暑い夏が予想されていますので、熱中症予防を始めましょう。

熱中症予防でのポイントは①暑さを避ける②暑くなり始めの時期から適度に運動し、体を暑さに慣らす③こまめな水分補給④三食しっかりと食べるの四点です。

「三食しっかりと食べることが熱中症対策？」と思われる方もいるかもしれませんが。一日に必要な水分量の半分は食事に含まれる水分量から摂取しています。そのため、飲料で水分をしっかりと摂っているつもりでも欠食していると

トータルの水分量が足りず、脱水してしまう可能性があります。特に注意が必要なのは朝食の欠食です。睡眠中の発汗により脱水気味な状態で朝食を欠食すると、十分な水分が摂れず、熱中症のリスクが上がってしまいます。熱中症を対策するためにも欠食をせず、三食しっかりと摂りましょう！



Instagram 発信中!!

協会の事業や各施設の行事・イベント、研修の様子、日々働く皆さんの姿等、随時投稿しています。協会の魅力をたくさん発信していきたい・より多くの人に協会について知っていただきたいです!!

みなさん、フォローと「いいね!」をお願いします。

【アドレス】
https://www.instagram.com/tochigi_kenkoufukushi_kyoukai/



編集後記

無事「かたらい第一〇二号」を完成する事ができました。担当するにあたって過去の「かたらい」を読ませていただきましたが、色々な歴史が詰まっています。読むのがとても楽しかったです。

私にできるかな、と不安でいっぱいでしたが通信員の皆さんを始め、たくさんの方の御協力があり、何とかここまで来ることができました。

ありがとうございました。